

東京大学教養学部 オルガン演奏会

第132回演奏会

2015年5月13日(水) 19時00分
900番教室(講堂)

May 13 7:00 pm; Auditorium No. 900,
Komaba Campus, The University of Tokyo

オルガン: ヴィッレ・ウルポネン
Organ: Ville Urponen

E=S・トゥール Erkki-Sven Tüür (1959-)
『スペクトルム I』 Spectrum I

C・P・E・バッハ Carl Philipp Emanuel Bach (1714-1788)
オルガン・ソナタ イ短調 Orgelsonate a-Moll, Wq 70/4

H・ヴェスマン Harri Wessman (1949-)
クレド Credo

J・S・バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)
『フーガの技法』より
「コントラプンクトゥス I」と「コントラプンクトゥス XIV」(未完)
Contrapunctus I, Contrapunctus XIV (unvollendet) aus
„Die Kunst der Fuge“, BWV 1080

T・クーシスト Taneli Kuusisto (1905-1988)
『ラムス・ウィレンス・オリヴァルム』による幻想曲
Fantasia hymnistä "Ramus virens olivarum" op. 55 nr. 2

J・オールトメルセン Jacques van Oortmerssen (1950-)
『詩篇 72』、『詩篇 77』
Psalm 72, Psalm 77

O・メリカント Oskar Merikanto (1868-1924)
『祈り』 Prière

J・S・バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)
ライプツィヒ・コラール集より
「いざ来ませ、異邦人の救い主よ」
Nun komm, der Heiden Heiland,
BWV 659 aus den Leipziger Orgelchorälen

トッカータとフーガ ニ短調
Toccata und Fuge in d-Moll, BWV 565

第133回演奏会

2015年7月14日(火) 19時00分
900番教室(講堂)

July 14 7:00 pm; Auditorium No. 900,
Komaba Campus, The University of Tokyo

スヴァトウイ・デュオ レベッカ・ヘップルホワイト(チェロ)
ジュリアン・コリングス(オルガン)
Svyati Duo Rebecca Hepplewhite (Violoncello) and
Julian Collings (Organ)

D・ブクステフーデ Dieterich Buxtehude (ca. 1637-1707)
ヴィオラ・ダ・ガンバと通奏低音のためのソナタ ニ長調
Sonata in D-Dur für Viola da Gamba und Basso Continuo BuxWV 268

J・S・バッハ Johann Sebastian Bach (1685-1750)
『オルガン小曲集』より「おお、人よ、汝の罪の大いなるを嘆け」
スヴァトウイ・デュオ編曲
Aus dem Orgelbüchlein „O Mensch, bewein' dein Sünde groß“ BWV 622
Bearbeitet für Violoncello und Orgel vom Svyati Duo

J・ブラームス Johannes Brahms (1833-1897)
二つのコラール編曲「心より喜びに満ちて」と
「われ心よりこがれ望む」(T・ソルター編曲)
Zwei Choralvorspiele „Herzlich tut mich erfreuen“ (op. 122,4) und
„Herzlich tut mich verlangen“ (op. 122,10), bearbeitet für Violoncello und Orgel von Timothy Salter

G・フォーレ Gabriel Fauré (1845-1924)
二曲「蝶々」作品77と「アンダンテ」(ロマンス作品69の原曲)
「蝶々」はスヴァトウイ・デュオ編曲
Deux pièces: « Papillon » œuvre 77 et « Andante »
(original de la Romance œuvre 69) Papillon arrangé par Svyati Duo

E・スウィーニー Eric Sweeney (1948-)
秋の音楽 Autumn Music

J・ヨンゲン Joseph Jongen (1873-1953)
ユーモレスク Humoresque op. 92

J・ラインベルガー Joseph Rheinberger (1839-1901)
作品150より第二「夜の歌」、第五「エレギー」、
第三「ジューグ」(ラインベルガー/スヴァトウイ・デュオ編曲)
Aus op. 150: Nr. 2 Abendlied, Nr. 5 Elegie und Nr. 3 Gigue
Bearbeitet für Violoncello und Orgel vom Komponisten und vom Svyati Duo

入場無料(先着500名) 開場18時45分

演奏者プロフィール



ヴィッレ・ウルポネン（オルガン）

Ville Urponen

フィンランドで最も有名なオルガニスト。シベリウス音楽院オルガン科とピアノ科のソロ科を卒業、カリ・ユッシラにオルガン、メリ・ロウホスにピアノを師事、1994年～1995年スウェーリンク音楽院（現アムステルダム音楽院）でジャック・ファン・オートメアセンに師事、また各地のマスタークラスでさらなる研鑽を積む。1996年シベリウス音楽院ソロ科大学院、2009年には博士課程を修了。日本、韓国、ロシアはじめヨーロッパの多くの地で演奏。フィンランドはじめドレスデンなどの音楽祭でも演奏。フィンランドはじめヨーロッパ各地でオーケストラとも演奏。また伴奏者としても定評がある。ソロCD、また伴奏者としてのアルバム録音も多数。

ヨーロッパ各国のテレビやラジオにも出演、フィンランド国営放送の番組収録も多い。フィンランドの作品、現代作品、また2012年にはヘルシンキでバッハの全曲演奏も成し遂げ、幅広いレパートリーで演奏活動を展開している。シベリウス音楽院で教鞭をとり、またトゥルク・オルガン音楽祭の音楽監督、また2008年から2009年には北欧のオルガン協会の会長も務めた。

2014年バッハの2枚組CD、またシベリウスの作品のオルガン編曲CDは2015年に発売される。

www.villeurponen.com



スヴァトウイ・デュオ

Svyati Duo

レベッカ・ヘッブルホワイト（チェロ） ジュリアン・コリングス（オルガン）

2009年に結成以降、ヘッブルホワイト（チェロ）とコリングス（オルガン）はその演奏と録音で国際的に高い評価を得てきた。ヨーロッパ、アジア、アメリカと世界的に演奏旅行を行い、レパートリーはバロックのソナタからロマン派・近現代曲までカバーしている。埋もれた傑作を探索し、その多くをRegent Recordsレーベルにて録音しており、同時に現代に活躍している作曲家に新曲を委嘱している。

ヘッブルホワイトは英国ヨークシャー生まれ。チータム音楽学校、王立音楽アカデミーで学び、2005年に特等の成績で卒業。ハンナ・ロバーツ、デヴィッド・スミス、ジェニファー・ウォード＝クラークに師事。スヴァトウイ・デュオとしての活動以外にも、数々の主要な室内アンサンブルと共演。

コリングスはケンブリッジのクリスト・カレッジで研究。トーマス・トロッター、デヴィッド・セングーに師事。ロンドンの聖シプリオン教会オルガン奏者。主にヨーロッパで演奏会を行っており、指揮者としても活躍中。

駒場キャンパスの音楽活動について

1977年に、森泰吉郎氏（森ビル株式会社初代社長）のご寄贈によって緑に囲まれた900番教室（講堂）にパイプオルガンが設置されました。以来、音楽を愛する教職員によるオルガン委員会が中心となって定期的に演奏会が開催され、学生はもとより広く市民の方々にも愛されています。

また、2006年秋には、スタインウェイのフルコンサート・グランドピアノが駒場コミュニケーションプラザ北館2階の音楽実習室に設置されました。音楽実習室では2007年よりオーディションによって選抜された学生による学生選抜

コンサートが開催されるなど、駒場キャンパスの音楽活動の軸となっています。こうした多彩な駒場の音楽活動は「駒場音楽振興基金」（駒場友の会）からの補助によって支えられています。皆様からのご寄付をお寄せくださいますようお願いいたします。

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部
オルガン委員会 <http://organ.c.u-tokyo.ac.jp/>
ピアノ委員会 <http://piano.c.u-tokyo.ac.jp/>
Tel. 03-5454-6139（駒場博物館）
Tel. 03-3467-3536（駒場友の会）

